

みらい未来

—「生きる体験」を目指して—



文部科学省

令和5年度「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業」

主催：国立大学法人大阪教育大学（みらい未来・オープンカレッジ実行委員会）

Challenged のための

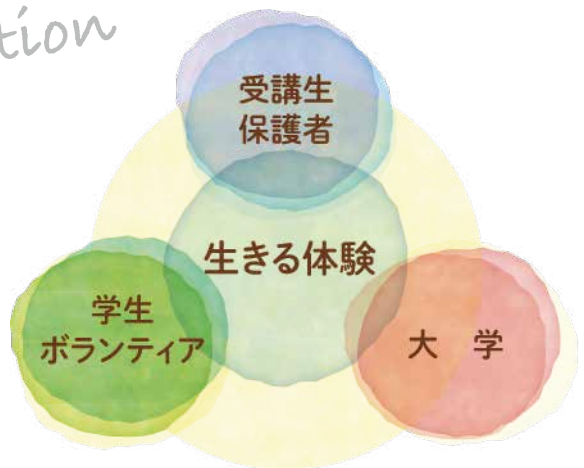
OPEN COLLEGE

もっと学びたい
もっと自分のことを話したい
もっと誰かとつながりたい

「生きる体験」の交流 *interaction*

目指すべき活動

AYA世代の受講生には、「あそび」「学び」といった同年代の学生ボランティアと同様の体験を通して、「生きる」ことを実感していただきたい。私たちはそのことを「生きる体験」と呼び、この活動を行いと考えています。



連携大学

大阪教育大学 教育学部

大阪信愛学院大学 看護学部

千里金蘭千里大学 看護学部

藍野大学 看護学部

みらい未来・オープンカレッジ実行委員会

大阪市総合医療センター
小児脳神経内科部長

岡崎 伸

多くの立場の人と協働し、高校卒業後に憧れてもらえる場を目指せればと思います。

国立大学法人大阪教育大学
特別支援教育部門 特任教授

早野 眞美

オープンカレッジは、出会い・笑顔・つながりの場です。皆さんの笑顔を待ってます。

国立大学法人大阪教育大学
特別支援教育部門 准教授

平賀 健太郎

その日が待ち遠しくなる今を満たす学びを一緒に創っていきましょう。

大阪信愛学院大学
看護学部 准教授

阪上 由美

誰もが当たり前「学ぶ」ことができるよう、この活動を広めていきたいと思えます。是非、本学のキャンパスでお会いしましょう!

千里金蘭大学
看護学部 教授

合田 友美

豊かに生きる喜びを感じられる時間(ひととき)を、「AYA世代」の皆さんと共に過ごしたいです。

藍野大学
看護学部 教授

西田 千夏

新たな出会いへの期待を抱きながら、皆様とともにオープンカレッジを創り上げていきたいです。

昭和大学
保健医療学研究科 准教授

副島 賢和

わくわくどきどきをいっしょにつくりましょう!
o(´・●・`)o

Challenged (チャレンジド) というのは「障がいを持つ人」を表す新しい米語「the challenged (挑戦という使命や課題、挑戦するチャンスや資格を与えられた人)」を語源とし、障がいをマイナスとのみ捉えるのではなく、障がいを持つゆえに体験する様々な事象を自分自身のため、あるいは社会のためポジティブに生かして行こう、という想いを込め、プロップが1995年から提唱している呼称です。